

報告事項1 令和5年度事業報告書の件

事業報告書

1 概況

令和5年度における我が国経済は、コロナ過の3年間を乗り越え改善しつつあり、30年ぶりとなる高水準の賃上げや企業の高い投資意欲など、前向きな動きがみられます。

一方で、賃金の上昇は輸入価格の上昇を起点とする物価上昇に追いついておらず、個人消費や設備投資は依然として力強さを欠いています。

補てん事業を巡る情勢は、令和5年度の飼料原料価格は低下してきているものの、為替相場や海上運賃は緩やかな上昇・下降傾向を繰り返しており、飼料価格は引き続き高値で推移していましたが、輸入基準価格の算定期間を1年間とする制度本来のルールでは、飼料価格の高止まりの中で補填発動は見込めない状況でした。

このような中、国は、飼料コストを抑制するため、令和5年度第1四半期から第3四半期に本来の制度とは別に、輸入基準価格の算定期間を2.5年間とする緊急補填交付金を措置しました。

さらに、福岡県においても令和4年度と同様に令和5年度も引き続き飼料高騰緊急対策事業を実施し、畜産経営の安定を図ってきたところです。

当基金協会としましても、このような厳しい環境にあって、畜産経営の安定・向上に資するため、配合飼料価格差補てん事業をはじめ、肉用牛、肉豚等に係る経営の安定に関する事業やリース事業に取り組んで参りました。

福岡県をはじめ、一般社団法人全日本配合飼料価格畜産安定基金、協同組合日本飼料工業会等のご指導と飼料荷受組合のご協力により、滞りなく業務を推進することができました。ここに感謝を申し上げますとともに、事業の内容を報告します。

2 配合飼料価格差補てん事業

(1) 配合飼料価格差補てん契約

ア 令和5年度契約数量、加入者数

5年度最終契約数量合計は第1から4四半期の合計が159,077トンとなり、4年度166,385トンに比べて7,308トン減少しました。また、加入者数は5年度第4四半期が235名となり、増減はありませんでした。

【最終契約数量及び最終加入者数】

(単位：トン、人)

区 分		1 四半期 4～6月	2 四半期 7～9月	3 四半期 10～12月	4 四半期 1～3月	最終契約数量 (四半期合計)
契約 数量	4 年度	41,736	41,118	42,860	40,671	166,385
	5 年度	39,592	38,468	41,283	39,734	159,077
加入 者数	4 年度	240	240	236	235	—
	5 年度	235	235	235	235	—

【畜種別の最終契約数量及び最終加入者数】 (単位：トン、人、%)

区 分		乳用牛	肉用牛	豚	採卵鶏	肉用鶏	その他	計
契約数量	4年度	14,968	22,580	22,443	80,704	25,690	0	166,385
	5年度	14,560	22,154	22,555	74,963	24,845	0	159,077
加入者数	4年度	95	57	23	48	12	0	235
	5年度	93	60	23	47	12	0	235
5年度畜種別数量割合		9.2	13.9	14.2	47.1	15.6	—	100.0
数量対前年比		97.3	98.1	100.5	92.9	96.7	—	95.6
加入者数対前年比		97.9	105.3	100.0	97.9	100.0	—	100.0

イ 契約数量及び加入者数の移動状況

【契約数量及び加入者数の推移】 (単位：トン、人)

区 分	4年度最終	増 減	5年度当初	移 動	5年度最終
契約数量	166,385	△7,123	159,262	△185	159,077
加入者数	235	0	235	0	235

【移動の理由】 (単位：トン、人)

区 分	廃業	基金移動 (転入)	基金移動 (転出)	預託契 約解除	譲渡	数量変更	計
契約数量						△185	△185
加入者数							—

(注)数量変更の対象者は、以下の場合

- ①風水害等の天災もしくは火災等により被害が生じた場合
- ②家伝法等法令の定めに基づく殺処分等の命令が出された場合

【移動の畜種別内訳】 (単位：トン、人)

区 分	乳用牛	肉用牛	豚	採卵鶏	肉用鶏	その他	計
契約数量				△185			△185
加入者数							—

(2) 通常補てん積立金 (単位：トン 円)

区 分	契約数量	単価	積立金額	全日基への納付日
1 四半期	39,592	600	23,755,200	令和 5年 4月 27日
2 四半期	38,468	600	23,080,800	令和 5年 6月 27日
3 四半期	41,283	600	24,769,800	令和 5年 9月 27日
4 四半期	39,734	600	23,840,400	令和 5年12月 27日
計	159,077	600	95,446,200	

(3) 別途納付金

(単位：トン 円)

区分	単価	件数	対象数量	納付金額
新規加入者	0	5	760	0
前年度中途解約者(第2四半期以降通常補てん積立金を納付しなかった者)	1,480	0	0	0
前年度中途解約者(第3四半期以降通常補てん積立金を納付しなかった者)	2,970	0	0	0
前年度中途解約者(第4四半期通常補てん積立金を納付しなかった者)	4,910	0	0	0
計	—	5	760	0

(4) 通常・異常補てん金の交付状況

(単位：人、kg、円)

区分		対象者	対象数量	単価	交付金額	交付日
4年度 第4四半期	通常	234	38,385,300	5,058	193,927,716	R5. 5.16
	異常			327	12,551,936	
	計			5,385	206,479,652	
5年度 第1四半期	通常	234	37,549,511	4,235	163,027,618	R5. 8.16
	異常			2,820	105,889,582	
	計			7,055	268,917,200	
5年度 第2四半期	通常	234	34,388,352	3,770	143,931,622	R5.11.16
	異常			2,100	72,215,537	
	計			5,870	216,147,159	
5年度 第3四半期	通常	234	38,605,568	1,460	53,560,890	R6. 2.16
	異常			420	16,214,301	
	計			1,880	69,775,191	

(注)・令和4年度第4四半期から令和5年度第3四半期まで通常補てん金は、分割交付を行っているため、単価と対象数量を乗じても交付金額にはならない。
 ・令和5年度第1四半期から第3四半期は、輸入基準価格の算定期間を本来の1年間から2.5年間とする緊急補てん交付金を措置した。

3 配合飼料価格高騰緊急特別対策事業(国)

生産コストの削減や自給飼料向上に取り組む生産者に対して、令和4年度第4四半期(1月～3月)の補てん対象数量に応じ、8,500円/トンの特別補てん金を交付する事業。

事業参加農家は219戸、対象数量は38,363,420kg、交付額は326,089,070円であった。

4 畜産環境整備機構リース事業

令和5年度貸付中の2飼料荷受組合(2戸)の償還実績(動産総合保険料負担金及び保証保険料を除く)は次のとおりである。

(1) 畜産高度化支援リース事業

畜産環境対策は、経営規模の大小を問わず、維持・継続し、または経営規模の拡大により家畜の排せつ物の増加が見込まれることから、畜産経営に関する環境整備に係るふん尿処理施設や家畜飼養管理施設等を貸し付ける事業。

畜産環境整備機構及び飼料荷受組合から委託を受け、末端借受者に対し借受業務を行うものである。

(単位：件、円)

貸付年度	件数	貸付施設 機 械 等	4年度末 残 高	5年度 償還額	5年度末 残 高	備 考
30年度	1	自動給餌機	840,600	257,724	582,876	経営 リース
3年度	1	曝気装置	7,327,821	1,180,934	6,146,887	環境 リース

5 肉用子牛生産者補給金制度

四半期ごとに農林水産大臣が告示する肉用子牛の平均売買価格が保証基準価格を下回った場合に、その期間中の肉用子牛を販売または自家保留していた場合に生産者補給金を交付する事業。

事業は畜産協会と生産者が直接契約を結び、補給金は畜産協会から直接生産者に交付される。当基金協会は、畜産協会から事務委託を受けて行う事業のうち連絡業務等を飼料荷受組合に委託し、事業実施に必要な事務処理を実施した。

今年度は第2四半期及び第3四半期において子牛価格が下落し、黒毛和種としては、21年ぶりに補給金が交付された。

交付額は、5,706,300円であった。

令和5年の事業参加は、飼料荷受組合5組合、契約生産者5戸、1月から12月の個体登録頭数は399頭であった。

6 和子牛生産者臨時経営支援事業

和子牛の平均価格(四半期別)が発動基準価格(黒毛60万円)を下回った場合に、販売頭数に応じて、差額の3/4の支援金を交付する事業。

事業参加農家は2戸、交付額は5,646,200円であった。

7 肉用牛肥育経営安定交付金制度

肉用牛生産者の負担金(積立金)と国の交付金をもって、標準的販売価格が標準的生産費を下回った場合に、肉用牛の生産者にその差額の9割を交付する事業。

事業は畜産協会と生産者が直接契約を結び、交付額は畜産協会から直接生産者に交付される。当基金協会は、畜産協会から事務委託を受けて行う事業のうち連絡業務等を飼料荷受組合に委託し、事業実施に必要な事務処理を実施した。

令和5年1月から12月までの令和5年交付実績は次表のとおりであった。

令和5年の事業参加者は、飼料荷受組合7組合、契約生産者27戸、1月から12月の個体登録頭数は6,407頭であった。

事業 対象	5年 月別	交付対象頭数および交付精算額（単位：頭、円）			
		肉専用種	交雑種	乳用種	合計
飼料 荷受 組合 7 組合 契約 生産 者数 27 戸	1月	336 18,817,436	129 1,670,213		465 20,487,649
	2月	377 27,637,678	139 6,398,738		516 34,036,416
	3月	386 31,277,457	149 1,555,560		535 32,833,017
	4月				
	5月	365 10,685,110	133 1,853,194		498 12,538,304
	6月	319 15,679,384	132 5,969,700		451 21,649,084
	7月	401 33,108,966	177 8,089,092		578 41,198,058
	8月	293 37,890,255	153 8,666,421		446 46,556,676
	9月	323 36,451,154	133 6,017,915		456 42,469,069
	10月	403 55,655,581	174 8,908,500		577 64,564,081
	11月	373 33,173,532	141 2,285,721		514 35,459,253
	12月	356 24,709,881			356 24,709,881
計	3,932 325,086,434	1,460 51,415,054		5,392 376,501,488	

(注) 二段書きの上段は交付対象頭数、下段は交付金額。

8 肉豚経営安定交付金制度

肉豚生産者の負担金(積立金)と国の交付金をもって、標準的販売価格が標準的生産費を下回った場合に、肉豚の生産者にその差額の9割を交付する事業。

事業は(独)農畜産業振興機構と生産者が直接契約を結び、交付金は同機構から直接生産者に交付される。当基金協会は、生産者から委託を受けた飼料荷受組合から再委託を受け、事業実施に必要な事務処理を実施した。

令和4年度第4四半期から令和5年度第3四半期まで交付金の発動はなかった。

令和5年度の事業参加は、飼料荷受組合6組合、契約生産者13戸、事業対象頭数77,433頭であった。

9 福岡県畜産振興総合対策事業

配合飼料価格安定対策についての畜産振興の推進を図るため、福岡県畜産振興総合対策事業(配合飼料価格安定推進事業)に取り組んだ。

事業費 6,681,834円(うち県費補助金3,000,000円)

10 飼料高騰緊急対策事業（福岡県直接執行事業）

飼料コスト低減や生産性向上に取り組む生産者に対して、令和5年4月から令和6年3月までに購入した飼料（配合飼料、混合飼料、単味飼料、輸入乾牧草）の購入経費の一部を助成する事業を、県の出先機関（農林事務所）を通じて実施された。

事業実施に際して、生産者の購入数量が確認できる書類が必要なため、基金協会とは、荷受組合及び特約店に対して、販売を証明する書類作成の協力依頼を行った。

11 会員の異動

令和5年度は、会員の異動はなかった。

12 その他

県が主催する畜産関係事業推進会議に参画し、畜産行政施策の推進に協力するとともに、畜産関係団体が開催する事業関係の会議に出席した。

13 諸会議及び行事

（1）会議の開催等

年月日	内 容
5.4.13	令和4年度監査（福岡県自治会館。以下「自治会館」という。） 監事意見：特になし
5.4.20	令和5年度第1回理事会（自治会館） 議題1 令和5年度事業計画書及び収支予算書の一部変更の承認について 議題2 第48回定時総会に提出する理事の提出議案の承認について （1）議決・承認事項 第1号議案：令和4年度貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録及び収支計算書承認の件 第2号議案：令和5年度会員会費の額、賦課方法及び徴収方法承認の件 第3号議案：役員報酬等の額承認の件 第4号議案：役員補欠選任承認の件 付帯決議案 （2）報告事項 1）令和4年度事業報告書の件 2）令和5年度事業計画書及び収支予算書の件 3）諸規程の一部変更の件

5.5.22	<p>第48回定時総会（自治会館）</p> <p>第1号議案：令和4年度貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録及び収支計算書承認の件</p> <p>第2号議案：令和5年度会員会費の額、賦課方法及び徴収方法承認の件</p> <p>第3号議案：役員報酬等の額承認の件</p> <p>第4号議案：役員補欠選任承認の件</p> <p>付帯決議案</p> <p>報告事項</p> <p>1) 令和4年度事業報告書の件</p> <p>2) 令和5年度事業計画書並びに収支予算書の件</p> <p>3) 諸規程の一部改正の件</p>
5.12.1	<p>令和5年度第2回理事会（書面）</p> <p>第1号議案：諸規程の一部改正承認の件</p>
6.3.22	<p>令和5年度第3回理事会（書面）</p> <p>1 決議・承認事項</p> <p>第1号議案：令和6年度事業計画書及び収支予算書承認の件</p> <p>第2号議案：令和6年度会員会費の額、賦課方法及び徴収方法承認の件</p> <p>第3号議案：役員報酬等の額承認の件</p> <p>2 報告事項</p> <p>1) 令和5年度事業報告書の件</p>

(2) 会議の出席等

年月日	内 容
5.5.24	労働保険年度更新事務説明会（県社会保険協会主催、福岡市）
5.25	畜産協会関連事業に係る説明会（畜産協会主催、自治会館）
6.8	（公社）福岡県畜産協会第1回理事会（福岡市）
6.12	算定基礎届事務説明会（県社会保険協会主催、福岡市）
6.13	福岡県養鶏協会総会（福岡市）
6.16	全日基第50回定時総会（東京都）
6.29	（公社）福岡県畜産協会定時総会（福岡市）
7.19	農山漁村地域人権問題啓発推進研修会（福岡県主催、福岡市）
7.20	全日基第4回理事会（リモート）
8.21	山口・九州地区基金協会第1回常務理事会（福岡市）
10.5～6	山口・九州地区基金協会事務職員研修会（沖縄県）

10. 17	健康保険委員研修会（全国健康保険協会主催、福岡市）
11. 6	農山漁村地域人権問題啓発推進研修会（福岡県主催、福岡市）
11. 20	年末調整に関する事務講習会（県社会保険協会主催、福岡市）
11. 22	山口・九州地区基金協会第2回常務理事会（福岡市）
11. 22	全日基飼料基金説明会（福岡市）
11. 25	福岡県高病原性鳥インフルエンザ緊急防疫対策会議 （福岡県主催、福岡市）
11. 29	配合飼料価格安定基金の運営に関する実態調査（福岡市）
12. 4	〃（福岡市）
6. 1. 18	全日基第6回理事会（リモート）
2. 1	山口・九州地区基金協会第3回常務理事会（リモート）